

# 流動性規制第3の柱に基づく開示事項

平成27年3月末から新たに流動性規制（バーゼルⅢ）が国際統一基準行に対し適用されております。当行は国際統一基準行であるため、平成27年3月末から流動性に係る健全性を判断するための基準である、流動性カバレッジ比率（LCR）を算出しております。

## I. 流動性カバレッジ比率に関する定性的開示事項

### 1. 連結流動性カバレッジ比率に関する定性的開示事項

- (1)時系列における連結流動性カバレッジ比率の変動に関する事項
- 平成29年3月期の連結流動性カバレッジ比率は、適格流動資産が減少したことを主因に、平成28年12月期対比8.0ポイント低下し、182.6%となりました。
  - 平成28年3月期の連結流動性カバレッジ比率は、純資金流出額が増加したことを主因に、平成27年12月期対比24.5ポイント低下し、189.4%となりました。
- (2)連結流動性カバレッジ比率の水準の評価に関する事項
- 連結流動性カバレッジ比率の平均値は、流動性カバレッジ比率に関する基準の規制水準を大きく上回って推移しております。
- (3)算入可能適格流動資産の合計額の内容に関する事項
- 算入可能適格流動資産の通貨又は種類等の構成に著しい変動はありません。
- (4)その他連結流動性カバレッジ比率に関する事項
- 流動性カバレッジ比率告示第29条に定める「適格オペレーショナル預金に係る特例」は適用しておりません。
  - 流動性カバレッジ比率告示第38条に定める「シナリオ法による時価変動時所要追加担保額」は適用しておりません。
  - 連結対象子会社については、流動性カバレッジ比率の水準への影響が極めて小さい小規模の連結子法人等とし、簡便的な取扱いをしております。
  - 平均値算出にあたり、日次データを使用せず、前月末データを使用している項目は以下の通りです。  
安定・準安定預金の判定及びリテール・ホールセールの判定を行う属性データ  
個人及び中小企業等の当座貸越に関わる与信ファシリティ金額

### 2. 単体流動性カバレッジ比率に関する定性的開示事項

- (1)時系列における単体流動性カバレッジ比率の変動に関する事項
- 平成29年3月期の単体流動性カバレッジ比率は、適格流動資産が減少したことを主因に、平成28年12月期対比8.4ポイント低下し、191.6%となりました。
  - 平成28年3月期の単体流動性カバレッジ比率は、純資金流出額が増加したことを主因に、平成27年12月期対比26.9ポイント低下し、200.4%となりました。
- (2)単体流動性カバレッジ比率の水準の評価に関する事項
- 単体流動性カバレッジ比率の平均値は、流動性カバレッジ比率に関する基準の規制水準を大きく上回って推移しております。
- (3)算入可能適格流動資産の合計額の内容に関する事項
- 算入可能適格流動資産の通貨又は種類等の構成に著しい変動はありません。
- (4)その他単体流動性カバレッジ比率に関する事項
- 流動性カバレッジ比率告示第29条に定める「適格オペレーショナル預金に係る特例」は適用しておりません。
  - 流動性カバレッジ比率告示第38条に定める「シナリオ法による時価変動時所要追加担保額」は適用しておりません。
  - 平均値算出にあたり、日次データを使用せず、前月末データを使用している項目は以下の通りです。  
安定・準安定預金の判定及びリテール・ホールセールの判定を行う属性データ  
個人及び中小企業等の当座貸越に関わる与信ファシリティ金額

## II. 流動性リスクに関する開示事項

### 1. 流動性に係るリスク管理の方針及び手続の概要に関する事項

流動性リスクは銀行が存続する上で最も基本的かつ重要なリスクであるとの認識のもと、資金繰りにおいて市場調達に過度に依存することのないよう管理するほか、速やかに資金化できる資産を一定水準以上保有する等により流動性リスクに備えることを基本方針としています。

流動性リスク管理にあたっては、当行を取巻く環境変化など流動性リスクに与える要因の特定・分析・評価をもとに、年度ごとに「流動性リスク管理方針」を策定し取締役会の承認を得ております。「流動性リスク管理方針」では、支払準備資産の最低保有額、資金繰りの状況に応じて設定している「通常時」「懸念時」「危機時」の3区分の逼迫度の判定基準に使用する限度枠等を定めています。

流動性リスクの状況については、定期的にALM・統合リスク管理委員会、ALM・統合リスク管理会議及び取締役会に報告していません。

### 2. 流動性に係るリスク管理上の指標に関する事項

該当事項はございません。

### 3. その他流動性に係るリスク管理に関する事項

該当事項はございません。

### Ⅲ. 流動性カバレッジ比率に関する定量的開示事項

#### 1. 連結流動性カバレッジ比率

(単位：百万円、%、件)

項目		平成29年3月期		平成28年12月期	
<b>適格流動資産 (1)</b>					
1	適格流動資産の合計額	1,528,105		1,572,878	
<b>資金流出額 (2)</b>					
		資金流出率を 乗じる前の額	資金流出率を 乗じた後の額	資金流出率を 乗じる前の額	資金流出率を 乗じた後の額
2	リテール無担保資金調達に係る資金流出額	4,758,988	368,956	4,708,799	365,987
3	うち、安定預金の額	1,601,406	48,042	1,571,553	47,146
4	うち、準安定預金の額	3,156,824	320,914	3,136,682	318,840
5	ホールセール無担保資金調達に係る資金流出額	1,379,142	642,635	1,246,051	534,339
6	うち、適格オペレーショナル預金の額	—	—	—	—
7	うち、適格オペレーショナル預金及び負債性有価証券以外のホール セール無担保資金調達に係る資金の額	1,177,570	441,063	1,094,095	382,383
8	うち、負債性有価証券の額	201,571	201,571	151,955	151,955
9	有担保資金調達等に係る資金流出額	—	6,557	—	19,391
10	デリバティブ取引等、資金調達プログラム及び与信・流動性ファシリ ティに係る資金流出額	2,039,267	367,371	2,070,044	374,046
11	うち、デリバティブ取引等に係る資金流出額	151,443	151,443	155,602	155,602
12	うち、資金調達プログラムに係る資金流出額	—	—	—	—
13	うち、与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	1,887,824	215,927	1,914,441	218,443
14	資金提供義務に基づく資金流出額等	64,540	54,151	51,990	46,541
15	偶発事象に係る資金流出額	33,745	674	30,288	605
16	資金流出合計額	—	1,440,347	—	1,340,911
<b>資金流入額 (3)</b>					
		資金流入率を 乗じる前の額	資金流入率を 乗じた後の額	資金流入率を 乗じる前の額	資金流入率を 乗じた後の額
17	有担保資金運用等に係る資金流入額	—	—	—	—
18	貸付金等の回収に係る資金流入額	621,870	408,192	477,583	317,124
19	その他資金流入額	246,248	195,752	236,978	198,571
20	資金流入合計額	868,118	603,944	714,562	515,696
<b>連結流動性カバレッジ比率 (4)</b>					
21	算入可能適格流動資産の合計額	1,528,105		1,572,878	
22	純資金流出額	836,403		825,215	
23	連結流動性カバレッジ比率	182.6		190.6	
24	平均値計算用データ数	61		3	

財務データ

自己資本の充実の状況

流動性に係る経営の健全性の状況

報酬等に関する開示事項

## 2. 単体流動性カバレッジ比率

(単位：百万円、%、件)

項目		平成29年3月期		平成28年12月期	
適格流動資産（1）					
1	適格流動資産の合計額	1,528,105		1,572,878	
資金流出額（2）		資金流出率を乗じる前の額	資金流出率を乗じた後の額	資金流出率を乗じる前の額	資金流出率を乗じた後の額
2	リテール無担保資金調達に係る資金流出額	4,758,991	368,957	4,708,804	365,987
3	うち、安定預金の額	1,601,406	48,042	1,571,553	47,146
4	うち、準安定預金の額	3,156,828	320,915	3,136,687	318,840
5	ホールセール無担保資金調達に係る資金流出額	1,388,035	651,528	1,255,105	543,392
6	うち、適格オペレーショナル預金の額	—	—	—	—
7	うち、適格オペレーショナル預金及び負債性有価証券以外のホールセール無担保資金調達に係る資金の額	1,185,383	448,876	1,102,382	390,670
8	うち、負債性有価証券の額	202,652	202,652	152,722	152,722
9	有担保資金調達等に係る資金流出額		6,557		19,391
10	デリバティブ取引等、資金調達プログラム及び与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	2,068,782	379,177	2,098,126	385,279
11	うち、デリバティブ取引等に係る資金流出額	151,443	151,443	155,602	155,602
12	うち、資金調達プログラムに係る資金流出額	—	—	—	—
13	うち、与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	1,917,338	227,733	1,942,523	229,676
14	資金提供義務に基づく資金流出額等	36,561	26,173	25,063	19,614
15	偶発事象に係る資金流出額	33,745	674	30,288	605
16	資金流出合計額		1,433,069		1,334,271
資金流入額（3）		資金流入率を乗じる前の額	資金流入率を乗じた後の額	資金流入率を乗じる前の額	資金流入率を乗じた後の額
17	有担保資金運用等に係る資金流入額	—	—	—	—
18	貸付金等の回収に係る資金流入額	653,903	439,983	510,041	349,332
19	その他資金流入額	246,263	195,767	236,993	198,586
20	資金流入合計額	900,166	635,750	747,035	547,919
単体流動性カバレッジ比率（4）					
21	算入可能適格流動資産の合計額		1,528,105		1,572,878
22	純資金流出額		797,318		786,352
23	単体流動性カバレッジ比率		191.6		200.0
24	平均値計算用データ数		61		3